

## 目標達成計画

作成日: 平成 24年 4月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |  |  |  |            |
|----------|------|--|--|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 26   | 事業所も増え会議時間の短縮を重視するが上に、モニタリングが細かいところまで出来てなく、職員全員が利用者に対して統一ある介護が提供できていない。          | ○チームでつくる介護計画書とモニタリング全職員で記録された内容や気づきを検討しあう時間をつくる。   | 毎月のカンファレンスまでに担当者は本人や家族に意向や希望を聞き、カンファレンスでは意向や希望も踏まえ介護計画書の全項目を検討し確認しあうことで統一化していく。        | 12ヶ月       |
| 2        | 35   | 火災に対しての避難訓練に対しては何度も計画し訓練しているが、地震に対しては昨年度は1回行ったが職員だけでは対応しきれないところがあり地域の協力体制が必要である。 | ○災害時の協力体制づくり<br>災害が発生した場合、職員の到着を待つより地域の住民の方に協力を得る方が早く救出できる為協力体制づくりをしていく。                     | 年間3回避難訓練を計画しておりその際に地域の消防団員に協力を得て一緒に訓練を行い、役割や避難経路を明確にする。また、自治会にも協力体制をお願いする機会を設ける。       | 12ヶ月       |
| 3        | 54   | 居室・廊下・ホール等ほこりがたまっているところがあったり、整理整頓されてないところがあったりしている。                              | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>日々生活していく場なので目に見え難いところまで注意しながら清掃していく。また、利用者の方にも1日の生活リズムに掃除も組み入れていき共に行っていく。 | チェックリストを作成し、当日のグループホーム担当責任者は気にかけるようにして時間があるときや職員に余裕があるときは掃除を促すようにしていく。掃除ができたならチェックをする。 | 12ヶ月       |
| 4        | 40   | 前年度は楽しみのある食事作りが提供できていなかったため、今年度は楽しみのある食事作りを提供していく。                               | ○食事作りを楽しむことのできる支援<br>入居者の方が自分達で作った食事を食べられる喜びを感じて頂く。  | 月1回から夕食作りをスタートしていく。慣れてきたらその回数を増やしていく。おやつ作りは比較的作り安いので当日のグループホーム担当責任者が計画書し提供していく。        | 12ヶ月       |
| 5        | 43   | 免疫が落ち尿トラブルが起きやすい方もいらっしゃるの、陰部洗浄を徹底していく必要性がある。                                     | ○衛生管理<br>どうしても体力が落ち免疫が落ちてくると尿トラブルが起きやすい。尿トラブルを回避する為にも陰部洗浄を徹底していく。                            | 陰部洗浄に関しての資料を集め内部研修を行い、パット交換の際は毎度行えるようにしていく。  | 12ヶ月       |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。